

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-123	小学校	道徳	道徳	第6学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳605	道徳 6 きみが いちばん ひかるとき		

1. 編修の基本方針

主体的・対話的な学びから、 児童を深い学びに導き、豊かな道徳性を育みます

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、これからの学校には、一人一人の児童が、

- 自分のよさや可能性を認める
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- 多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

ことができるようにすることが、求められています。私たちは、これらの実現を旨として、3つの方針に則って教科書を編修しました。

1 成長に寄り添う教科書

児童の1年間の成長と、学校生活の流れに沿った年間構成としました。年間を3つのまとまりに分け、まとまりごとに、児童が自身の成長を実感でき、自己肯定感を高めることができるよう工夫しました。

2 学びを支える教科書

児童の主体的な学びが促せるよう、1時間の学びが、児童に見える教材構成としました。さらに、1時間の学びが、他教科や日常生活、次の道徳の授業へとつなげられるようにしました。

3 課題と向き合う心を養う教科書

現代的な課題と道徳の学びを結び付けることで、児童が課題と向き合い、自分のこととして考えたり、多面的・多角的に自分の生き方について考えを深めたりできるようにしました。

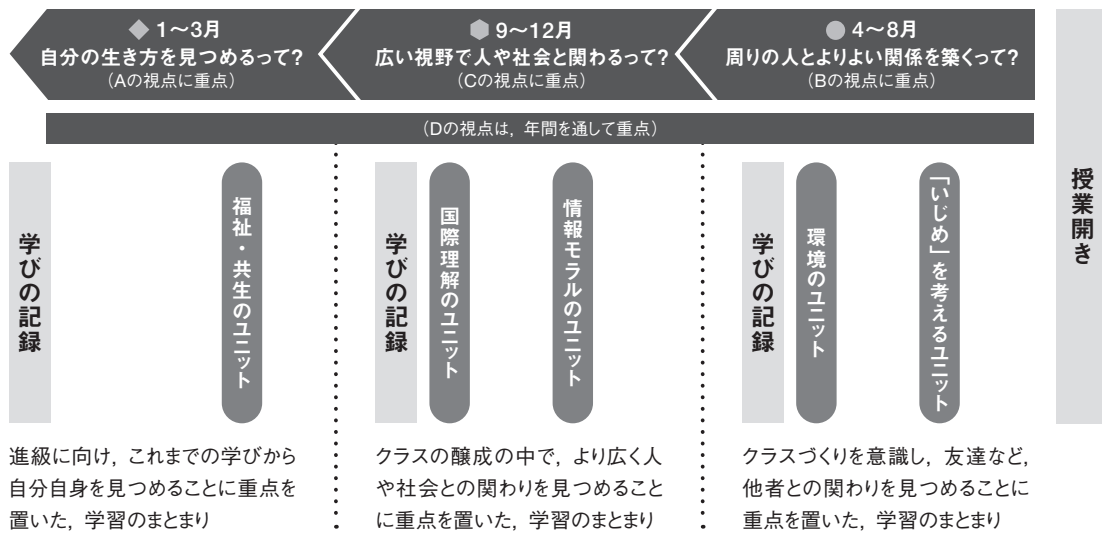


1

成長に寄り添う教科書

年間構成の工夫

- 学校生活の実態と、それに伴う児童の成長を考慮した年間構成となるよう、1年間を3つのまとまりに分けました。
- まとまりごとに、それぞれBの視点、Cの視点、Aの視点に重点を置く構成としました。Dの視点については、年間を通して重点と捉え、随所に教材を配しました。
- まとまりごとに扉を設けることでめりはりをつけ、児童が新鮮な気持ちで道徳の学習に臨めるよう配慮しました。



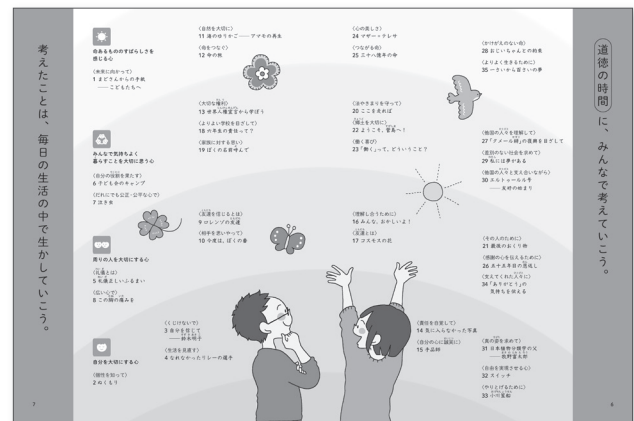
道徳の授業開き

学年の冒頭に、授業開き（上図参照）として「道徳の時間」を設けました。

- 初めの見開き (p.4-5) では、道徳の授業は、教材をきっかけに、読んだり、演じたり、書いたりする活動に取り組みながら、児童が主体的に考え、話し合う時間であることを示しています。
- 次の見開き (p.6-7) では、道徳の学びが、自分から他者へ、さらには社会、そして生命や自然へと、全てを取り巻く広がりをもっていることを視覚的にイメージできるようにしました。これからの学習に対する見通しがもてるように配慮しています。



p.4-5



p.6-7

2 学びを支える教科書

教材構成の工夫


児童の主体的な学びが促せるよう、1時間の学びが児童に見える教材構成としました。また、てびき「考えよう・話し合おう」では、児童が主体的・対話的な学びを深められるような3つの問いを用意しました。さらに、1時間の学びが、他教科や日常生活、次の道徳の授業へとつなげられるよう、「つなげよう」を設けました。

他教科の学びや
日々の生活へ

めあてを確認し、問いに沿って考えを深める

導入

p.28-31 ④「なれなかったリレーの選手」



生活最後のリレーの選手になれなかったんだ。そう思うと、何をやる気にもなれなかった。なんてゲームをやめられなかったんだろ。今日、リレーの選手を決めることは分かって、いたのに。ぼくは、自分で自分が許せなかった。

「ああ、ねむい。」
ぼくは、このごろ寝不足が続いている。理由は、自分でも分かっていて、毎晩、おそくまでゲームに夢中になっているからだ。「いくら楽しいけども、限界があるでしょ」とお母さんにしかられるけれど、始めるとおもしろくて、ついやりすぎてしまう。

でも、さすがに今日は、早く寝なくてはと思っていた。あしたの体育の時間に、運動会のリレーの選手を決めるからだ。ぼくは、一年生のときからずっと選手に選ばれている。そして今年は、小学校生活最後の運動会だ。だから、絶対に選手になりたい。

生活を見直す

4 なれなかったリレーの選手

いけないと分かっているのに、つい何かをやりすぎてしまった経験は、ないかな。

考えよう・話し合おう

後悔しないために、日ごろから大切にしなければならぬのは、どんなことだろう。

- 早く寝なくては思っていたのに、「ぼく」は、どうしてゲームがやめられなかったのでしょう。
- ◎自分で自分が許せなかった「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょう。
- あなたが、自分の生活で見直したいのは、どんなところですか。

考えよう・話し合おう

後悔しないために、日ごろから大切にしなければならぬのは、どんなことだろう。

- 早く寝なくては思っていたのに、「ぼく」は、どうしてゲームがやめられなかったのでしょう。
- ◎自分で自分が許せなかった「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょう。
- あなたが、自分の生活で見直したいのは、どんなところですか。

考えよう・話し合おう

いけないと分かっているのに、つい何かをやりすぎてしまった経験は、ないかな。

つなげよう

安全について、君は、どんなことに気をつけているかな。

つなげよう

つなげよう

他教科の学びや日々の生活へ

キャラクターの呼びかけによって、1時間の道徳の時間の学びが、次の行動につながるようにしました。他教科の学習内容との関連付け、特別活動との関連付け、関連する内容をもつ図書の紹介、日常生活への意識づけなどを通して、計画的、発展的な学習ができるように配慮しました。

めあてを確認し、問いに沿って考えを深める

児童が、教材を通して何を学ぶのかをはっきりと意識することができるよう、学びのめあてを太字で示しました。また、めあてに沿って、次のように発問を構成しました。

- ①教材の内容について、児童が同じ共通理解に立つための問い
- ②道徳的価値に迫るための中心的な問い
- ③道徳的価値を自分や日々の生活に結び付けたり、問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりする問い

特に考えてほしい中心となる問いには、◎(二重丸)を付しました。

導入

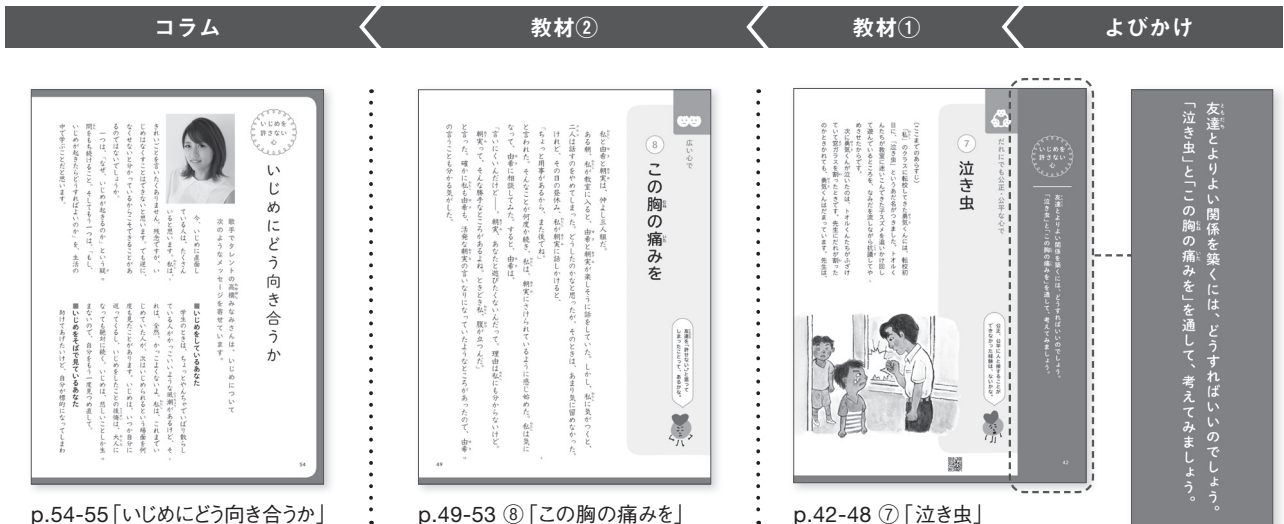
キャラクターが問いかけることで、児童が無理なく学習に入ることができるよう工夫しました。児童と、教材を通して考える道徳的価値とを結び付ける役割を果たします。

3 課題と向き合う心を養う教科書

現代的な課題を取り上げた「ユニット」の工夫

教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を、年間に5種類設けました(P.2上図参照)。コラムには、現代的な課題とともに持続可能な発展について考えられる話題を取り上げ、「ユニット」を通して、課題を自分のこととして受け止め、自己の生き方についての考えを深められるよう配慮しました。

[例 「いじめ」を考えるユニット]



全ての児童にとって使いやすく、わかりやすく

特別支援教育への配慮

教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

人権上の配慮

教科書全般にわたって、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別による偏りがないようにするとともに、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、人権に配慮した記述としました。また、人権教育の専門家に、全面的な校閲をお願いしました。

学習上の配慮

[判型について]

・B5判を左右に10ミリ広げ、綴じ方を工夫することで、文字や挿絵を大きく示しました。持ち運びやすいサイズで、児童の負担を最小限におさえます。

[文字について]

- ・文字の大きさは、発達段階、教材の内容によって、十分に配慮しました。
- ・文字の書体は、本文は原則として書き文字に近い教科書体活字を用いました。

[表記について]

- ・第2～6学年について、当該学年の配当漢字には全て振り仮名を付しました。
- ・読みの負担を軽減するため、熟語の混ぜ書きを極力避けました。そのため、当該学年より上の学年の配当漢字が掲出される場合には、その全ての漢字に、振り仮名を付しました。

[文章の区切り]

- ・文章は、必ず文節で改行するようにし、児童の読みのつまずきを軽減しました。
- ・てびきの問いは、意味のまとまりで改行するようにし、児童が問われていることの意味をつかみやすいようにしました。

2. 対照表

[第6学年]

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
	巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった児童へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1
	道徳の時間	真理を求める態度を養い、互いの価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、道徳の時間に行うさまざまな活動や学びを紹介する中で、疑問を追求していく態度や、他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの重要性を感じることができそうなページを設けた。	第一号、第二号	4-7
教材	1 まどさんからの手紙 ——こどもたちへ	豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	10-18
	4 なれなかったリレーの選手			28-31
	19 ぼくの名前呼んで			122-126
	34 「ありがとう」の気持ちを伝える			202-205
	2 むくもり	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	19-22
	3 自分を信じて——鈴木明子			23-27
	31 日本植物分類学の父 ——牧野富太郎			190-193
	33 小川笙船			198-201
	35 一さいから百さいの夢			206-211
	14 気に入らなかった写真	他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	92-96
	15 手品師			99-104
	16 みんな、おかしいよ!			106-110
	32 スイッチ			194-197
	6 子ども会のキャンプ	自身の生活と社会との関連を意識しながら、社会に奉仕し働くことを尊ぶとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、第三号	36-39
	18 六年生の責任って?			116-119
	23 「働く」って、どういうこと?			142-146
	24 マザー=テレサ			147-151
	5 礼儀正しいふるまい	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	32-35
	7 泣き虫			42-48
	8 この胸の痛みを			49-53
	9 ロレンゾの友達			56-61
	10 今度は、ぼくの番			62-66
	13 世界人権宣言から学ぼう			86-91
	17 コスモスの花			111-115
	20 ここを走れば			127-130
	21 最後のおくり物			131-136
	29 私には夢がある	177-181		
	11 海のゆりかご——アマモの再生	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第四号	67-71
	12 命の旅			72-79
	25 三十八億年の命			152-155
28 おじいちゃんとの約束	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	172-176	
22 よこそ、菅島へ!			137-141	
26 五十五年目の恩返し			156-160	
27 「クメール餅」の復興を目ざして			161-165	
30 エルトゥールル号 ——友好の始まり	182-187			
特設ページ	〈心を通わそう〉相手の気持ちを考えて、言葉をかけよう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、互いの価値を尊重しながら温かい人間関係が築けるようなページを設けた。	第一号、第二号	40-41
	なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	120-121
	学びの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	82-84、168-170、212-214
	〈付録〉あなたへのメッセージ	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばそうとする態度を養うことができる内容を付録として設けた。	第一号、第二号	215
	〈付録〉おたがいがここちよくなる話し方を身につけよう!	教材と関連して、幅広い知識や豊かな人間関係を築こうとすることができる内容を付録として設けた。	第一号	216-217
〈付録〉日本の「町おこし」	教材と関連して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度が養える内容を付録として設けた。	第五号	218-219	

編修趣意書

学習指導要領との対照表， 配当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-123	小学校	道徳	道徳	第6学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳605	道徳 6 きみがいちばんひかるとき		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 考えたくなる，語りたくなる授業を実現するために

新学習指導要領では，よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し，社会と連携・協働しながら，未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現が掲げられています。

社会と連携・協働しながら，未来の創り手となる児童が育てられるよう，私たちは，道徳の授業を通じて生きて働く道徳性の育成ができる教科書を目ざしました。

心を捉える多様な教材群

児童が，道徳的な問題について「考えたくなる」，友達と「語り合いたくなる」，自ら「行動したくなる」多様な教材を開発しました。高学年の児童は，自分を高めたいと思う一方で，自分に自信がもてないなど，夢と現実の違いを意識するようになってきます。そのような時期だからこそ，人が悩む姿や，失敗や葛藤を乗り越える姿など，子どもの心を捉える教材を作成しました。また，これまで気づかなかった新しい見方を示唆する教材，視角的に子どもの興味を引く教材など多様な教材を取り上げました。



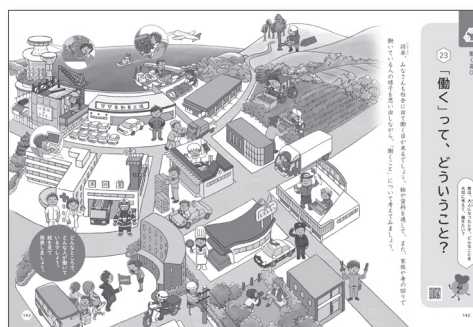
p.23-27 ③「自分を信じて——鈴木明子」



p.72-79 ⑫「命の旅」



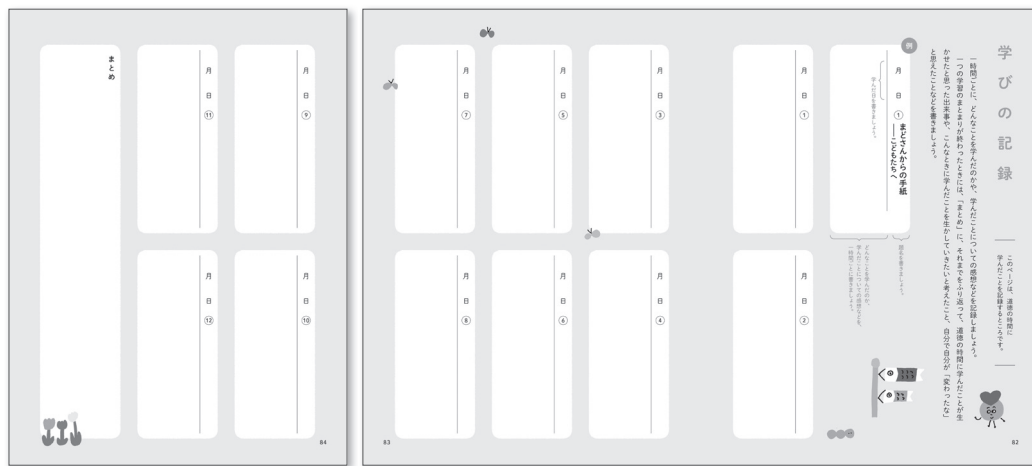
p.92-96 ⑭「気に入らなかった写真」



p.142-146 ㉓「『働く』って，どういうこと？」

児童の振り返りの場——「学びの記録」

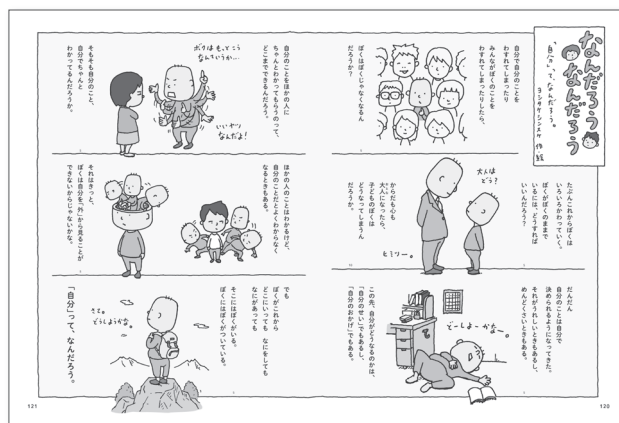
「学習のまとめり」の区切り目の3か所に、「学びの記録」を設けました。児童が、毎時間の学びの記録をつけるとともに、「学習のまとめり」の区切りごとに、そこまでの自分の学びの変化や成長をいつでも振り返ることができるように構成しました。児童の自己評価の記録を通して、教師が長期的に児童の成長を見取ることも可能です。



p.82-84 「学びの記録」

考えることを楽しむ——「なんだろう なんだろう」

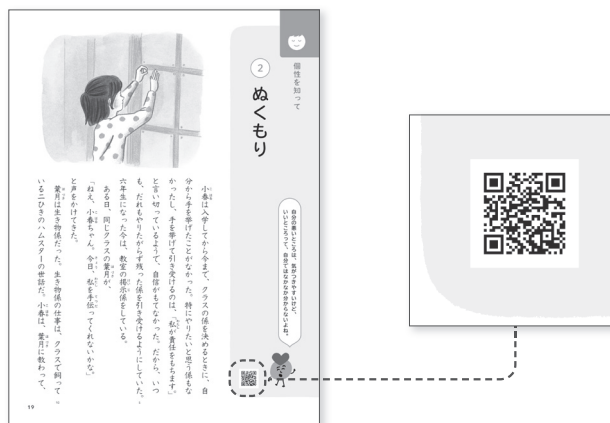
全学年に、1年「『がっこう』って、なんだろう」、2年「じぶんらしい『たのしい』って、なんだろう」、3年「『うそ』ってなんだろう」、4年「『友だち』ってなんだろう」、5年「生きる『しあわせ』ってなんだろう」、6年「『自分』ってなんだろう」というテーマを設け、それぞれのテーマについて、多面的・多角的に考えられるようなページを設けました。複数の道徳的価値が含まれた内容として、授業時間以外でも「考えること」を楽しむことができます。



p.120-121 「なんだろう なんだろう」

効果的に活用できるデジタルコンテンツ

児童を引き込む、人気声優による朗読や、授業の導入や展開で活用できるオリジナル写真・動画、教材に関連する情報や写真・動画を見ることができるウェブサイトの紹介など、授業に役立つデジタルコンテンツを用意しました。



p.19-22 ②「ぬくもり」

2. 対照表

[第 6 学年]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当頁	配当時数	配当学期
	視点*1						
	A	B	C	D			
巻頭詩					表2-1		
道徳の時間					4-7		
周りの人 とよりよい 関係を築く って？	1 まどさんからの手紙——こどもたちへ			○	よりよく生きる喜び	10-18	1
	2 めくもり	○			個性の伸長	19-22	1
	3 自分を信じて——鈴木明子	○			希望と勇気、努力と強い意志	23-27	1
	4 なれなかったリレーの選手	○			節度、節制	28-31	1
	5 礼儀正しいふるまい		○		礼儀	32-35	1
	6 子ども会のキャンプ (心を通わそう) 相手の気持ちを考えて、言葉をかけよう			○	よりよい学校生活、集団生活の充実	36-39	1
	7 泣き虫			○	親切、思いやり／相互理解、寛容	40-41	1
	8 この胸の痛みを (コラム) いじめにどう向き合うか			○	公正、公平、社会正義	42-48	1
	9 ロレンゾの友達 ※2		○		公正、公平、社会正義	49-53	1
	10 今度は、ぼくの番		○		友情、信頼	54-55	1
	11 海のゆりかご——アマモの再生			○	親切、思いやり	56-61	1
	12 命の旅 (コラム) よりよい世界を目ざして			○	自然愛護	62-66	1
13 世界人権宣言から学ぼう			○	自然愛護	67-71	1	
14 気に入らなかった写真 (コラム) インターネット上の権利	○			生命の尊さ	72-79	1	
15 手品師	○			自然愛護	80-81	1	
広い視野で 人や社会と 関わって？	16 みんな、おかしいよ!		○		規則の尊重	86-91	1
	17 コスモスの花		○		善悪の判断、自律、自由と責任	92-96	1
	18 六年生の責任って？ なんだろう なんだろう			○	善悪の判断、自律、自由と責任	97-98	1
	19 ぼくの名前呼んで			○	正直、誠実	99-104	1
	20 ここを走れば			○	相互理解、寛容	106-110	1
	21 最後のおくり物		○		友情、信頼	111-115	1
	22 ようこそ、菅島へ!			○	よりよい学校生活、集団生活の充実	116-119	1
	23 「働く」って、どういうこと?			○	個性の伸長	120-121	1
	24 マザー＝テレサ			○	家族愛、家庭生活の充実	122-126	1
	25 三十八億年の命			○	規則の尊重	127-130	1
	26 五十五年目の恩返し		○		親切、思いやり	131-136	1
自分の生き方 を見つめる って？	27 「クメール耕」の復興を目ざして (コラム) 国際親善——私たちにできること			○	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	137-141	1
	28 おじいちゃんとの約束			○	勤労、公共の精神	142-146	1
	29 私には夢がある			○	感動、畏敬の念	147-151	1
	30 エルトゥールル号——友好の始まり (コラム) 差別のない社会を目ざす			○	生命の尊さ	152-155	1
	31 日本植物分類学の父——牧野富太郎	○			感謝	156-160	1
	32 スイッチ	○			国際理解、国際親善	161-165	1
	33 小川笠船	○			国際理解、国際親善	166-167	1
	34 「ありがとう」の気持ちを伝える		○		生命の尊さ	172-176	1
	35 一さいから百さいの夢			○	公正、公平、社会正義	177-181	1
(付録) あなたへのメッセージ	○			国際理解、国際親善	182-187	1	
(付録) おたがいがここよくなる話し方を身につけよう!		○		公正、公平、社会正義	188-189	1	
(付録) 日本の「町おこし」			○	真理の探究	190-193	1	
				善悪の判断、自律、自由と責任	194-197	1	
				希望と勇気、努力と強い意志	198-201	1	
				感謝	202-205	1	
				よりよく生きる喜び	206-211	1	
				個性の伸長／希望と勇気、努力と強い意志	215		
				相互理解、寛容	216-217		適宜
				伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	218-219		
				合計時数		35	

*1 視点の内容 A: 主として自分自身に関する事 B: 主として人との関わりに関する事 C: 主として集団や社会との関わりに関する事
D: 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

*2 はユニット構成となっていることを示す。